

メッセージアウトライン

タイトル「ここに愛がある」

●□導入(ヘブル 1:1, 2)

神様はいろいろな方法で私たちに語りかけて下さっている

- ・被造物を通して、預言者(聖書)を通して、そしてイエス様を通して

クリスマスとは、、、

天地全てを創造され、全てを治めておられるお方が、私たちと同じ人となって、赤ちゃんとなってお生まれになった日。全知全能であるお方が、人の助けがなければ、人の世話を受けなければ決して生きられない最も無力で最も小さな存在となってお生まれ下さった。

イエス様は、わずか 33 年の生涯、しかも公に働かれたのは 3 年半。最後は当時の極刑であった十字架刑によって死なれた。

キリストの誕生によって、世界の歴史が二分された。今も世界中で祝われている。歴史の中で、イエス・キリストほど人々に影響を与えた人物はいない。

1. この救い主の誕生の最初の知らせが羊飼いにあった

羊飼いで当時の社会の最も底辺にいた人、数にも数えられない人、必要とされていなかった人、誰からも認められていなかった人、誰の目にも留まらない人、最も影響力のない人。

- ・神様の召し、選びの目的 (I コリント 1:26-29) 羊飼いは私たち一人一人。

2. イエス様は神様の無条件の愛の現れ(I ヨハネ 4:9, 10)

私たちが神様を愛したのではなく、神様が私たちを愛して下さいました。

神様を愛することができない、人を愛することができない私たちを愛して、

御自分の大切なひとり子を遣わして下さいました。ここに愛が現された。

イエス様は私たちの罪のために、人を愛することができない、受け入れることができない、大切にすることができない罪のために、自分から十字架にかかり、いのちを捨てて下さった。神の子であるイエス様がそのきよい血潮を注ぎ出して下さって、私たちの一切の罪、汚れをきよめて下さった。そして、預言通り、三日目によみがえられた。

●□結論

クリスマス、神様の愛が現された日、大切なひとり子を遣わして下さいました日、飼葉桶で白い布にくるまれ、すやすや眠っておられるイエス様のことを思い巡らしながら、神様がどれほど私たちを愛して下さいしているのか、大切に思っているのか、その愛のひとかけらでも知ることができるように、祈りつつ、このクリスマスの時を迎えたい。